

# 大会開催要項

## 1 大会主題 「一人一人が豊かに生きる新しい時代を指向して」

～一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実と発展～

## 2 趣 旨

ノーマライゼーションの進展にともない、障害の軽重等に関わりなく、個人の主体性が確保され、一人一人が確かな存在となる社会のありようが追究されつつある。障害等のある人の社会的存在が確かなる基本条件是、当事者本人の主体性が確保されての完全参加である。

「一人一人が豊かに生きる新しい時代」は、個人の主体性確保を基本条件として始動している。主体性確保には、主体性を支える社会的状況づくりが必要不可欠である。一人一人への主体性を支える状況づくりが行き届けば、自立も社会参加も自ずと実現し、豊かに生きることに通じる。

学校においては、「一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育」を標榜し、今を、将来を豊かに生きるための教育支援を大切にしようになった。一人一人のニーズに適確に応えるにあたっては、幼児児童生徒一人一人の思いを大切に受けとめ、思いにそった支援を重要視することになる。保護者の要求・要望等については、子どもの思いを支えるという点を重く受け止めたい。

「特別支援教育の充実と発展」には、障害等のある児童生徒の学校生活の充実、軽度発達障害等障害や困難性についての理解、一人一人のニーズへの適確な対応、小・中学校等、学校全体の支援体制づくり、地域の学校や関係機関との連携、学校・家庭・地域社会との協力体制づくり、福祉・医療・労働等と連携しての総合的支援等々、課題は多い。

全国各地から、進取に取り組んだ様々な実践を持ち寄り、活発な協議を展開し、成果とさらなる課題を明らかにしたい。

## 3 大会期日

平成 18 年 10 月 18 日(水)・19 日(木)・20 日(金)

## 4 会 場 等

第1日目 全 体 会 新潟県民会館大ホール  
 第2日目 公開授業及び分科会等 朱鷺メッセ 市内小・中学校 養護学校  
 第3日目 教育研究視察 新潟県内の福祉施設、文化施設等の視察

## 5 参 加 者

全日本特別支援教育研究連盟構成団体会員  
 保育所職員 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教職員  
 盲・聾・養護学校教職員  
 特別支援教育研究者 育成会関係の方 特別支援教育に関心のある方

## 6 日 程

期 日	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
大会前日 10/17(火)								理事・評議員研究協議会 朱鷺メッセ
第1日目 10/18(水)	受付	開会式 表彰式	研究発表	昼食 アトラクション	シンポジウム (行政報告 基調報告)	記念講演 記念演奏		閉会式
新潟県民会館大ホール								
第2日目 10/19(木)	受付・公開授業*		分科会	昼食	分科会			
(各分科会の計画による)								
朱鷺メッセ・各授業公開校								
第3日目 10/20(金)	教育研究視察							
コース別								

研 究 発 表……全日本特別支援教育研究連盟研究奨励賞受賞者(全特連本部で決定)

新潟県発表者「未定」(推進本部で決定)

アトラクション……児童生徒による音楽、ダンスの予定

シンポジウム……全特連理事長、文部科学省特別支援教育課、上越教育大学教授(藤原 義博氏)他を予定

## 7 記念講演・記念演奏

ヴァイオリニスト 川島 成道様。(幼少期に視力を失う。家族に支えられながらヴァイオリンを学び、世界の様々なコンクールで受賞するに至る。世界を舞台にコンサート活動や福祉活動に精力的に取り組み、新潟県中越大地震の折りにも復興支援コンサートを開催。)講演を盛り込んだ演奏会の構成を予定